

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年8月20日)

- 令和3年上半期における特殊詐欺の現状及び対策について
..... 2
(生活安全部生活安全企画課)
- 令和3年上半期における交通事故発生状況について
..... 3
(交通部交通企画課)

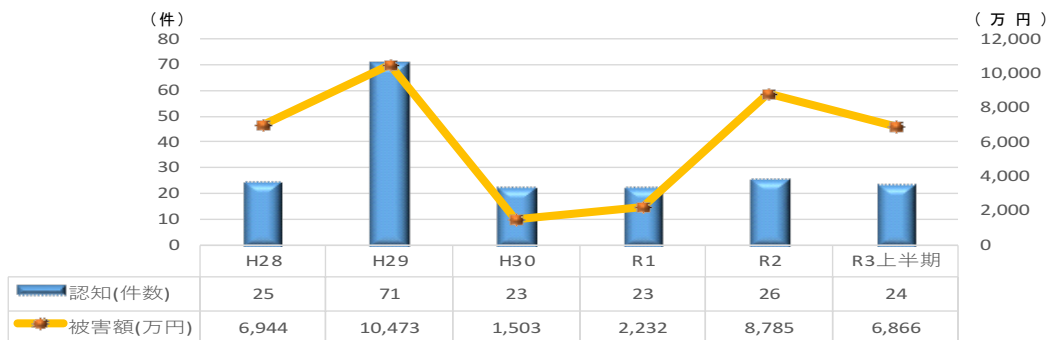
警 察 本 部

令和3年上半期における特殊詐欺の現状及び対策について

令和3年8月20日
警察本部
(生活安全部生活安全企画課)

1 現状

(1) 認知状況 (令和3年6月末時点)



- ・ 認知件数：24件 (対前年同期比+11件)
- ・ 被害金額：約6,866万円 (対前年同期比+2,425万円)
- ・ 手口別では、還付金詐欺(12件)が最も多く、次いで架空料金請求詐欺(10件)であり、両手口で全体の約9割を占める。被害者については7割以上が65歳以上の高齢者である。

(2) 水際阻止状況 (令和3年6月末時点)

- ・ 阻止件数：58件 (阻止率：70.7%)
- ・ コンビニエンスストア店員・金融機関職員の声かけが阻止件数全体(58件)の約7割を占める。

2 対策

(1) 電子マネー封筒の作製・配布

県下の全コンビニエンスストアに対して、電子マネー購入客に特殊詐欺被害防止の注意喚起を目的に作製した電子マネー封筒に電子マネーを入れて販売するよう依頼した。



電子マネー封筒

(2) 大型商業施設と連携した年金支給日の広報活動

年金支給日に合わせ、大型商業施設等において、チラシを配布するなど、広報活動を実施した。



広報用チラシ

(3) 新聞、テレビ等を活用した広報活動

新聞を利用した注意喚起や、テレビ局の番組に県警職員が出演して、広報活動を実施した。

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種会場における注意喚起

新型コロナウイルスワクチン接種会場において、ポスターを掲示するなどして、注意喚起を実施した。

(5) 県警HP、フェイスブック等を活用した注意喚起

県警ホームページ・フェイスブックを随時更新し、はやりの手口等を掲載するほか、あんしんトリピーメールや自治体の防災無線を活用した注意喚起を実施している。



年金支給日における広報活動

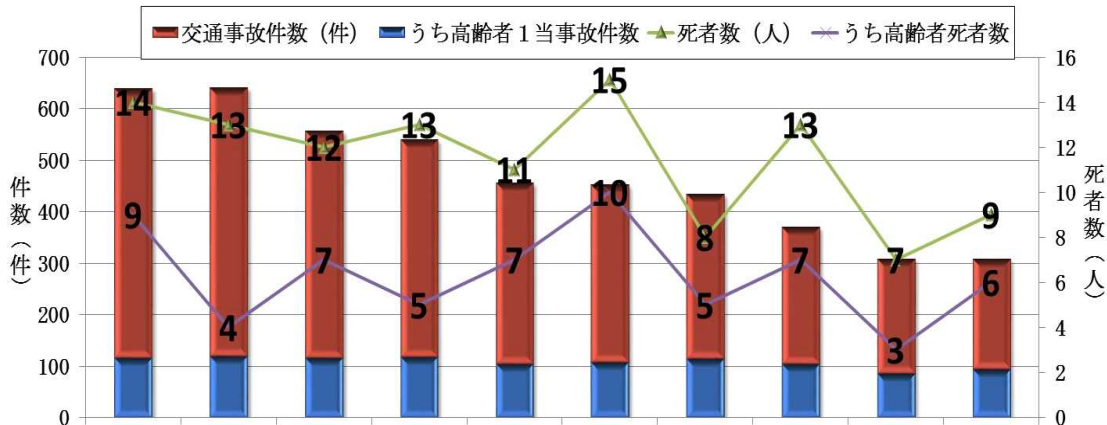


テレビを活用した広報活動

令和3年上半期における交通事故発生状況について

令和3年8月20日
警察本部
(交通部交通企画課)

1 交通事故発生状況（過去10年間上半期の推移）

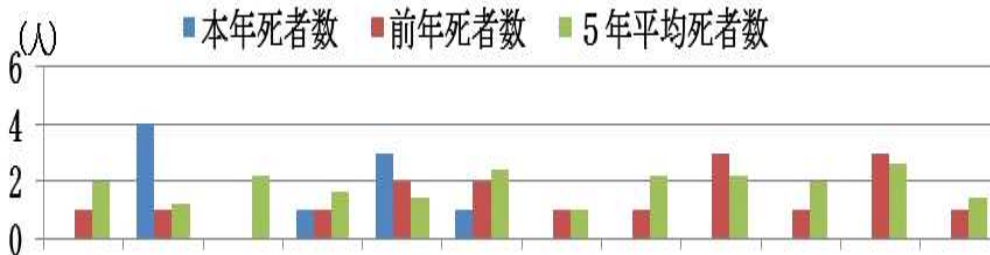


	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
交通事故件数(件)	640	641	558	540	457	453	435	371	309	308
うち高齢者1当事件	116	118	115	117	103	107	114	103	85	93
うち75歳以上高齢者1当事件	55	52	49	41	50	37	40	49	34	26
死者数(人)	14	13	12	13	11	15	8	13	7	9
うち高齢者死者数	9	4	7	5	7	10	5	7	3	6
うち75歳以上高齢者死者数	7	3	7	4	4	4	3	5	1	4
負傷者数(人)	753	817	660	643	572	547	524	443	367	342
うち高齢者負傷者数	122	134	119	113	105	107	109	92	66	69
うち75歳以上高齢者負傷者数	49	64	42	40	42	46	46	40	31	28
高齢者1当事件の割合	18.1%	18.4%	20.6%	21.7%	22.5%	23.6%	26.2%	27.8%	27.5%	30.2%
高齢者死者の割合	64.3%	30.8%	58.3%	38.5%	63.6%	66.7%	62.5%	53.8%	42.9%	66.7%
高齢者免許人口の割合	19.5%	21.0%	22.4%	23.4%	24.4%	25.3%	26.3%	27.0%	27.8%	28.2%

- 交通事故件数は過去10年で大幅に減少（平成24年比△332件・増減率△51.9%）した。
- 高齢者（65歳以上）が第1当事者となる交通事故の割合は年々増加傾向にあり、本年上半期は30.2%と平成24年と比べ12.1ポイント増加した。

2 交通死亡事故の発生状況（令和3年6月末・9件9人）

(1) 月別死者数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
本年死者数	0	4	0	1	3	1							9
前年死者数	1	1	0	1	2	2	1	1	3	1	3	1	17
5年平均死者数	2.0	1.2	2.2	1.6	1.4	2.4	1.0	2.2	2.2	2.0	2.6	1.4	22.2

(2) 年齢別死者数



(3) 事故類型別件数



(4) 路線別件数



(5) 昼夜別件数



- 月別：2月及び5月に死亡事故が連続発生し、県下に交通死亡事故多発警報が発令された。
 - 年齢別：高齢者が6人（66.7%、前年3人・42.9%）を占める。
 - 事故類型別：人対車両の事故が4件（44.4%、前年0件・0.0%）発生した。
 - 路線別：国道、県道等の幹線道路での事故が6件（66.7%、前年2件・28.6%）発生した。
 - 昼夜別：前年に続き、昼間の時間帯の事故が6件（66.7%、前年7件・100.0%）発生した。
- ※ 割合については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

3 下半期に向けた交通事故抑止対策の推進

(1) 夏期の対策

- 夏の交通安全県民運動と連動した各種対策を推進した。
- 長距離運転者対策を継続して推進する。
- 飲酒運転の根絶に向けた各種対策を推進する。

(2) 年末に向けた対策

- 秋の全国交通安全運動（9月）及び年末の交通安全県民運動（12月）の取組を推進する。
- 福祉事務所、地域包括支援センター及び介護団体等と連携した高齢者対策を推進する。
- 前照灯早期点灯・ハイビーム使用の広報啓発、横断歩行者事故防止の広報啓発を実施する。

(3) 年間を通じた対策の継続

- シルバー・セイフティ・インストラクター、警察官による高齢者訪問活動を推進する。
- 複数回事故当事者に対する個別指導を継続して実施する。
- 安全運転サポート車の普及啓発を推進する。